

科目番号 7

授業科目名：	講義日：	単位数：	担当教員名：
異文化間理解に基づく英語指導	9月 8日（土） 9月15日（土）	1単位	ロング クリストファー
			担当形態： 単独
科 目	教科に関する科目（中学校 英語）		
施行規則に定める科目区分	異文化理解		
授業の到達目標及びテーマ			
「異文化理解に関する知識を深め、英語指導への応用を考えるとともに英語運用能力の向上を図る」			
到達目標			
(1) 中学校の英語指導において必要となる異文化理解及び英語指導に関して学んだことの要点をまとめ、自分の考えを伝えることができる。			
(2) 異文化理解及び英語指導について学んだ事柄をどのように自分の指導に活かすことができるかについて具体的な提案をすることができる。			
授業の概要			
中学校の英語指導において必要となる異文化理解に関する知識を深めると同時に、英語指導について学んだ事柄をどのように自分の指導に活かすことができるかについて学んでいく講義内容となる。具体的に、ステレオタイプが異文化間コミュニケーション及び日本人の英語学習に与える影響、在日外国人の実態及びこれらの課題を英語教育にどう取り入れるべきかについての理解を深める。授業は講義と演習によって行われ、受講者は理解したこと、考えたこと、調べたなどについてプレゼンテーション及びスピーチなどを行い、学習成果の共有を行う。			
授業計画（各回90分）			
第1回：ステレオタイプとは何か：定義と心理的メカニズムに関する講義			
第2回：日本における多文化（1）：異文化適応と日本人の対外国人受容態度についての講義			
第7回：グループでのデータ分析及び発表（25%）			
第8回：ステレオタイプに関する試験（25%）とその答え合わせ			
第5回：日本における多文化（2）：「ハーフ」の実態と問題点を紹介するドキュメンタリーの観賞			
第6回：ドキュメンタリーに関するグループディスカッション及び発表（25%）			
第7回：異文化トレーニング：偏見と差別を乗り越えてに関する講義			
第8回：グループワーク及び発表（偏見を乗り越えるためのレッスンプラン）（25%）			
テキスト：配付資料を用いる。			
参考書・参考資料等			
文部科学省『中学校学習指導要領解説外国語編』			
村野井仁（編）『コア・カリキュラム準拠 小学校英語教育の基礎知識』（大修館書店）			
学生に対する評価			
到達目標（1） 授業中の課題（25%）及び試験（25%）			
到達目標（2） 授業中の課題（50%）			